

JP Laid-open Utility Model Publication Number: No. 1-173580

Date of Publication: December 8, 1989

Date of filing: May 27, 1988

Application Number: No. 63-69323

Applicant: Fujita Corporation

Creator: Shigeru YAMADA

Relevant part of the Publication

As shown in Figs. 1 and 2, a lock member (10) is disclosed. The lock member (10) locks a valve body (6) to close a supply port (3).

⑫ 公開実用新案公報(U)

平1-173580

⑬ Int. Cl.⁴

F 16 K 31/70
F 24 H 1/10

識別記号

3 0 3

庁内整理番号

B-8713-3H
Z-8716-3L

⑭ 公開 平成1年(1989)12月8日

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全2頁)

⑮ 考案の名称 熱湯噴出防止装置

⑯ 実 願 昭63-69323

⑰ 出 願 昭63(1988)5月27日

⑱ 考 案 者 山 田 茂 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目6番15号 フジタ工業株式会社内

⑲ 出 願 人 フジタ工業株式会社 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目6番15号

⑳ 代 理 人 弁理士 野本 陽一

㉑ 実用新案登録請求の範囲

- 1 給湯管内に形成され供給口および排出口を備えた管路切り換え部と、この管路切り換え部に摺動可能に配置され上記供給口および排出口を選択的に閉塞する弁体と、この弁体と上記管路切り換え部との間に張設され温水の温度があらかじめ設定された温度より低い場合には上記弁体を一方向に摺動して上記排出口を閉塞させ上記設定温度以上になると変形して上記弁体を他方向に摺動させて上記供給口を閉塞させる形状記憶合金からなる弾性体とを具備したことを特徴とする熱湯噴出防止装置。
- 2 請求項1記載の熱湯噴出防止装置において、弁体と管路切り換え部との間にはバイアス弾性体が張設されていることを特徴とする熱湯噴出

防止装置。

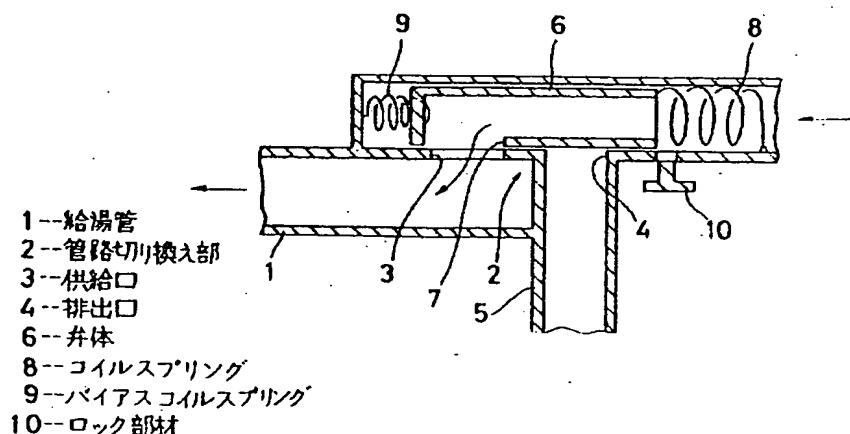
- 3 請求項1記載の熱湯噴出防止装置において、弁体による供給口の閉塞をロックするロック機構が設けられていることを特徴とする熱湯噴出防止装置。

図面の簡単な説明

第1図および第2図は本考案の一実施例を示す図で、第1図は温水供給時の熱湯噴出防止装置の状態を示す断面図、第2図は温水排出時の熱湯噴出防止装置の状態を示す断面図である。

1……給湯管、2……管路切り換え部、3……供給口、4……排出口、5……排出管、6……弁体、7……開口、8……コイルスプリング、9……バイアスコイルスプリング、10……ロック部材。

第1図



第 2 図

